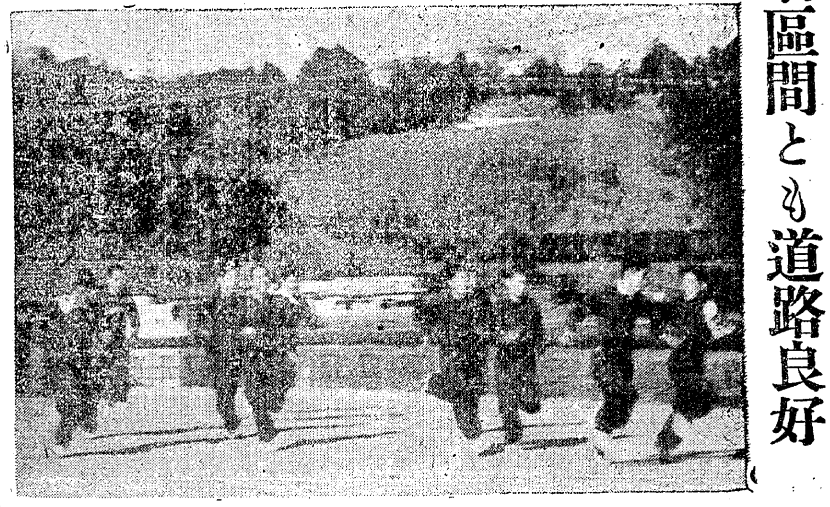
夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

耳鼻咽喉科 気管食道科
鈴木医院
平市田町 電六一三

平・中村間 一〇六キロのコース 各區間とも道路良好

本社主催の平ー中村間一〇六キロ駅伝競争もいよく\明後日に迎え各地区とも駅伝熱に沍き返つている、特に出発点中村町は、町を挙げての歓迎振りでポスター歓迎アーチなど町は駅伝競走一色にぬいつぶされている、本社では十二日中村ー平間の各引継所準備万端磐城、相双陸競役員とともにコース踏査を実施したが、道路も整備され今回は昨年度の第一回競走時よりはコースも良くなつている、各選手の参考までにコースの概況を報告して見る



中村、鹿島

出発点中村の市街地を第一の踏切を抜けると間もなく見事な松並木立並ぶ陸前浜街道、途中日立木の部落地帯を越えると再び松並木のある山道に入るがカーブが甚しく多いのが先ず難色、山坂を下つたところに第二の踏切があり、越えると第一引継所の鹿島町に入る鹿島町内は道路が割にせまく、カーブが多いので特に応援車は注意必要、鹿島町を抜けると再びカーブ多く見通しのきかない山道にかかる、道路は良いが先ず難所の一つであるようだ、第二引継所の原町に入るところで橋の修理中なのが一つある、要注意の必要なところ原町引継所を出ると同駅伝競走コース中最適の直線コースに入る原町から有名な野馬追街道を過ぎるまで、左手にひばりケ原を望みながら走る直線コースは、なんとも言いない絶好のコースである、小高引継所からも二粁ほど直線コースが続くが、直線コースの切れたあたりに危険な踏切りがある、このあたりから再び山道に入り、浪江町に至るが、浪江引継所の前後にはいずれも踏切りがあり、時に応援車は注意必要

難コース 富岡ー久ノ浜

次は標葉ー富岡に入るがこのコースは十四、八キロで区間では第二位に長いところであるが、コースも余り良くない、長いマバラな村落と多いカーブが最も難関となり応援車などの混雑未然防止の心得が特に必要なコース区間である

次が同競走中最大の難所であり最長区間である富岡ー久ノ浜十六、六キロである、最も危険な久ノ浜ー末続間の踏切りもこゝにあり各チームの大勢はこのコースで決るといつて良い区間である

一区間に四ケ所の踏切りがある同コースに選手、応援者とも万全の注意をしてほしいところでもある

次えで久ノ浜ー四倉間のコースだが、同区間は短い割に、最ひどい波立峠のある区間で二つの山越しは楽ではないコースだ、後は四倉ー平間であるが、此処は何処までも平たんなコースで最後の追い込みを一気にかけて突走るには最良のコースであろう

母ヨシ儀永らく病気療養中の所、去る十二月三十一日前七時八十八才の高齢で死去致しました
謹んで生前の御交誼を深謝し併而御知せ申上げます
追て葬儀は来る一月十六日午後二時自宅出棺九品寺に埋葬いたします
昭和廿八年一月十三日
平四丁目二六
喪主 猪狩庄平
外 親戚一同

壇論 統一ある運動　池田好範

平市政問題もドソ気分でこのところ休業状態、しかし批判されて幾多の問題は昨年末から年越しとなつている、活発な問題も両日中に帰平するであろう例の地下採掘問題で九州視察中の市議一行が帰平してからのような様相を示し現在は正に嵐の前の静けさというところらしい

地下問題については、近く市会で結論づけられ、答申案が提出されるらしいが、一応形式的でも市民の公聴会を開くべきではあるまいか、市内には石炭に関する一見識を持つている人々が多いのだからこれらの人の話を参考にしてもよいだろう、一部の人は地下二千尺掘つても、一千枚の枚を一枚とる程度の被害が地上に及ぼす程度であり、何ら憂うべき事柄はないと云つている、九州まで行かなくとも結論は判然としているのだから、この調査はもう打切るべきであるとの強硬論を吐いている人々も多いようだが、念には念を入れろという言葉もあり、如何に化学的であつても万に一つということもなきにしも非ずである、これらに対して、一まず踏むべき経路を経てから答申を出すことは無難である

一部では地下を掘られる影響などよりも、この地下採掘に依つて及ぼす今後の平市のあり方が重要であると主張している、正にその通りで、掘られてから後の方針を今から樹立して、百年の計を失つては大変な問題である、夢物語りのみに走らず大地にじつくり腰を下した理想郷の建設に市民一丸となつて研究すべき問題ではあるまいか

殊に常磐地区にはバラく\な合併が随所に計画されている、石炭で結ばれている常磐地区が、地方産業の開拓のためにも一丸となつて起ち上らねばならぬ、この趣旨からもバラく\な合併はやめて統一ある合併の気運を計画するため平市が音頭をとつて、地方振興の基盤を作るべきチャンスでもある

県当局は町村合併を積極的に計画しているとき平市を中心とすべきか、小名浜か、湯本かの根本を慎重に進むことが至当ではないか、よしんば直ちに実現は不可能としても、将来の問題として一つの線を描き、その理想に向つて計画を押し進めるようにすべきである

今年からバラく\な運動や計画をやめて、秩序ある計画を強引に進めようではないか

内郷舗装問題 高木代議士を通じ陳情

新春早々町行政面に積企的発展をめざして内郷町ではさきに来平中の建設委員高木松吉代議士に鈴木喜政氏の仲介の労によつて、陳情した重要案件たる綴駅前県道舗装工事の件、綴井田木線産業国道編入の件、特別平衡交附金の件（スト対策）、綴町ノ内水害対策排水工事の件などを鈴木喜政氏の仲介の労で沼田町長、神好経済委員長菅野町議、西総務課長らが十四日出県し、来県中の高木代議士に面会後県に陳情することになつた

八代氏講演会 十八日平公民館

鹿島村長であり本県の文化運動に貢献している八代義定氏を招き、文化賞記念講演会を十八日午后一時から平市公民館で開く

一、八代義定氏の研究報告
二、祝賀会
三、史談会規約改正

なお磐城史談会の役員改選が行われるが、新会長には永山徳一氏、副会長に野木稔弼、渡辺久の両氏が推されるもよう

小名浜住宅 建具盗まる

小名浜町竹町建築請負柳内庄八氏はかねてから町営住宅建築中のところ、十日後六時から、十一日朝にかけ家屋内建具等破損され、両戸二枚盗れたと地区署へ届け出た尚内田建設でも同様手口で三枚破れているのを発見した

朝鮮人の盗み

湯本町傾城二鮮人根本彦一（二七）は十一日後五時頃、小名浜町上野台古物商宅へ台ハカリ用フンドウ（三〇〇Kグラム四ケ一五〇Kグラム二ケ）を売込んでいる行為が怪しいので、署へ連絡、高橋刑事の取調べによつて盗品としての疑いあり、余罪追求中

十五日は天氣良好

平地方は朝から雪で、十五日の駅伝をあやぶまれたが、午后から好天気となり、富岡、四倉間には少しも雪がないので、この分では十五日決行出来るだろうとの見込みあり、小名浜測候所でも「十五日はくもりがちの天気ですが、雨や雪の予報はありません」と発表している

天気予報

（明日）北西よい天気ですが山添はくもり
（明後日）北風くもり
（海上）今晩北西の風強く、漁船は注意を要します、強風特報は発令中です

第二回平・中村驛傳

主催 磐城地区陸上競技協会　相双地区陸上競技会　磐城地区高等学校体育連盟　相双地区高等学校体育連盟　常磐毎日新聞社　福島民友新聞社

後援 磐城スポーツ連盟　相双スポーツ連盟　平市　中村町　教委石城　双葉　相馬出張所　石城町村長会　双葉町村長会　相馬町村長会

式典

開会式（一月十五日八時）中村町

一、開会式次第
1開式宣言
2優勝旗返還
3会長挨拶
4主催者挨拶
5祝辞
6審判長競技開始宣言
7選手宣誓

二、閉会式次第
1閉式宣言
2成績発表
3表彰
4講評
5祝辞
6万才三唱
7閉式宣言

本大会トロフィー

一般の部
優勝チーム
常磐毎日新聞社 優勝旗
福島民友新聞社 優勝たて
衆議院議員 高木松吉氏大杯
衆議院議員 鈴木直人氏杯
県会議長 遠沼龍輔氏杯

高校の部
優勝チーム
常磐毎日新聞社 優勝旗
諸橋市長杯 福島民友新聞社
優勝たて 市井茂氏杯
参議院議員 木村守江氏杯

大会役員

一、顧問 遠沼龍輔。諸橋久太郎。三田四郎。金子政道。鈴木正男。佐々木智。松本久吉。太田耕治。横山宗延。木村守江。鈴木直人。松井政吉。高木松吉。馬目武之助。田畑金光。沢田源次。大井川正己。星友太郎。植田万次郎。赤津庄兵衛。大平正次。小野義治。山田光政。松本光信。塩政助。宇佐美吾市。吾妻文友。佐藤多利吉。村上清雄。田中政吉。菅田三郎。山田喜平。酒井清明。樋口道三。赤目可直。北島雄太郎。相馬地方事務所長。清水達雄。野々山三郎。小地元吉。大野三郎。服部甲。高橋猛。今野清助。鈴木幸安。隆文雄。福井三郎
一、山尾清海。田原徳。桜井文治
一、名誉会長 鈴木喜政
一、会長 金子源三
一、副会長 大橋秀冬。鈴本久蔵。佐藤徳三。永野孝夫

競技役員

一、総務 草野仁
一、審判長 島田喜市
一、出発合図 鈴木重雄
一、総務員 鈴木武雄。田子泰作。村上遠平。高崎剛。成田末太郎。野木一夫。池田一夫。鈴木重雄。伏見新助。持舘泰彦。小野田義明。馬場弼六。鈴木文雄。高木伝。太田宗彦。佐藤正。富田龍。半沢三男
一、途中審判 伏見新助。鈴木重雄。草野仁。高崎剛
一、記録集計 山家博孝
一、荷物係 酒井等 浜田雄弘
一医務員 金成俊男

中継所、役員

中村（主）佐須義雄。森口正作。吉田孔彦。渡辺泰雄。佐藤匡頼。
ボーイスカウト
鹿島（主）菅頭章。荒木英一。横山栄吉。山田喜一郎。平井忍。小尾一。井上利政
原町（主）堀川淵雄。斎頼達夫。佐藤利徳。高城繁雄。伊賀敏。渡辺慶寿。門馬道仲
小高（主）石田留次郎。大井博。佐藤時夫。鴨原敏雄。遠藤敏。橋富造。佐藤一信
浪江（主）大井忠治。滝田武一。滝宗二。今野忠三
標葉（主）石田忠治。富田龍。沢田芳雄。半谷一意。遠藤昭二。江井英治
富岡（主）堀川美也男。藤田満夫。竹村忠男。渡辺一。合津昇
広野（主）木村総平。新妻智。根本名治。坂本惣助
久ノ浜（主）木村誉一。木田茂三郎。豊田要三。佐藤満
四倉（主）菅波勇。白土丑之輔。他四高競技部

決勝点役員

一、決勝審判 田子泰作。白石光治。清水幸蔵。松本久。佐藤吉雄
一、決審記録 西牧清富。大平暢三郎。横須賀俊一、大和田義翁
一、計時員 成田末太郎。小林正毅。阿地偏海
一、賞状賞品 小野弼。鈴木守。鈴木小次郎。久信田豆彦
一、連絡宣伝 池田一夫。松本栄。山木国雄。長谷川泰敬。永山美和子。加藤寿夫
一、連絡員 大門。千葉。花沢保夫。西丸洋子。。馬上君子。渡辺鈴木幹雄
一、総務 鈴木武雄。伊藤徳雄。佐藤隆丸。長谷川泰敬。藤田正巳。馬目英雄。佐藤蔵広。浜田雄弘泰

出場選手名

一般の部

チーム名	監督	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	補欠	補欠
常磐炭鉱A（白色）	西田武夫	大平昭二	高萩定雄	馬場徳太郎	中村正夫	矢内修	工藤智義	大場辰夫	福田稔	御代修三	○高橋清幸	草野良夫	小形清美
常磐炭鉱技所（緑）	円谷裕一	鈴木政男	ささ原武	坂本昇	根本光間	相賀浩	井沢清	○矢内盛雄	神保重雄	板井孝好	谷本政弘	菊地忠義	高田健
国鉄（ダイダイ）	清水達雄	佐藤忠明	川内長次	武田昌平	矢吹松男	広島幸吉	木田常夫	佐々木幸清	新妻茂	猪狩常広	松井五月日	佐々木光江	○西名清
呉羽化学（桃色）	谷沢清	池田悦郎	五十嵐幸一	ささ木千明	後藤実	黒沢弘	金賀満	園部末治	石井良夫	荒川信郎	櫛田昭一	荒富義	○武田義光
日本水素（黒色）	須磨利春	山崎勝重	○富永孝	伊藤吉男	斎藤利夫	黒須睦夫	橋爪新一	小松明	小野勇一	北原光隆	鷲寅吉	芳賀二三男	吉田泰久
全好間（赤色）	大河原茂弼	猪狩高雄	○大河内宏	芳賀正已	小笠原忠堅	児玉秀雄	須貝辰雄	鈴木進	気仙明	田中正二	根内賢司	五十嵐明	須藤良平
全双葉A（空色）	大津茂	浜本正幸	渡辺伊彦	矢島正已	井上幾	○福田春義	石井武	渡辺千代松	宇佐美顕義	尾内武男	綿引俊美	佐久間智	古渡安雄

学生の部

チーム名	監督	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	補欠	補欠
相馬農業（黄色）	吉田健一郎	遠藤貢	石谷泰夫	小沢政弘	佐々木清人	高野吉雄	松田悦夫	但野伸之	酒井[illegible]	斎藤文夫	牛来秀一	亀田三男	安倍政英
平工業（空色）	早川満雄	斎藤英二	石森勝恵	八代哲男	松村三男	箱崎為徳	渡辺政彦	鷲林仁	川島康男	河原正	浅倉一夫	坂本隆雄	小野[illegible]
双葉高校（茶色）	半谷勝雄	松永洋	金子民男	佐藤寛男	天野英夫	松本松男	高橋典男	石川公康	神谷満郎	佐藤秋男	斎藤重胤	大内威	穴戸孝
相馬高校（黒色）	松岡重信	船山忠一	高野寛治	佐藤徹夫	大谷政記	勝浦文夫	渡部恒夫	菅野昌夫	森俊雄	斎藤敏雄	長塚智雄	梅田眞	山本弘志
平商業（紫色）	秋山仁平	鵜沼全	長谷川喜一	服部幸男	川口史夫	大和田修身	西俊英	佐[illegible]太郎	永井忠平	渡辺昇	鈴木實	寺田一郎	[illegible]県実
小高農業（ネズミ）	亀田浩志	益山喜代治	鴨川永雄	猪狩義孝	三瓶忠一	高野豊	玉川忠義	[illegible]忠男	横田清秀	馬場秀夫	吉田司	渡部覚	
磐城高校（緑色）	村上遠平	小林勤	広木繁	柴崎文彦	田沢正義	郡司庄平	金成俊一	[illegible]山	坂本英麿	高崎和彦	鈴木隆	小堀宗郎	松崎茂伸

御婦人連はゼロ 交通道徳を守らない

新春早々の行事の一環として石城第八ボーイスカウト隊では二日午前九時から石城地方で最高の人出を予想される平市内に出動、平市署と協力して本町、大通り、銀座通りの繁華街の十字路に立ち交通道徳観念を銘記したカードを通行人に手渡し、道徳観念昂揚のため交通整理を行つた、このため無事故で正月を過す成果をあげた

然しまだく交通道徳観念が薄く、時に着飾つた若い婦人が無関心で実行せず、最高数を示していた、また自転車の二人乗りが最近めつきり増加し、この人達の反省を促し、今年度の交通事故を未然に防止し、立派な成績をあげるよう協力してもらいたいものである

平市の整理に当つた 内郷の第八隊

同隊の松田隊長は一般民に対する要望を次の如く語つた

「市内銀座通りの或る商店では同店前で交通整理を行つていた隊員に対し、「店前でやつてもらつては困る」との苦情を申込み、純真無くな隊員の心情を曇らせ、止むを得ず引上げたところ、その場で親子連れの四人が事故に合う場面があつたとの事実もあつたとのことだが、我々隊員は自主的に出動し、よき社会を育成するとともに隊員の教養を高めるため尽力しているのであるから、苦情のある場合は子供に言わず直接リーダーに言つてもらいたい、なお十五日にも内郷地区ボーイスカウト隊が交通整理に出動するから協力方を要望したい」

泉と渡邊村合併 四月まで町制実施か

かねてから町制実施を計画中の泉村では、いよく四月頃に実施しようと話を進めている

即ち泉村は渡辺村と合併しようとの気運にあり、合併条件その他今後の問題解決次第順調に進むらしい。なお渡辺村の高木村長は

「当村としては水力電気事業、河川、村道工事など幾多の宿題があり、近隣と共にこれらを解決し地方自治振興に資すべきである」

と語り、さらに渡辺、泉、小名浜鹿島、江名を合併して大都市計を画すべきだとの論も一部には起つているが小名浜の動きと共に町村合併問題もいよく活発になるだろう

営火祭 内郷BS隊

石城第八ボーイスカウト隊では正月松送りの十四日午後五時から八時まで内町小校々庭に各家庭の松を集め、営火祭を行う

内郷婦人文化 十三日夜高坂

内郷町検井婦人文化講座は十三日午後六時から同町高坂桜井クラブで開き、講師として同町公民館主事赤土興栄氏を招き、「新年を迎えて」との講演後レクリエーションとして室内ゲームを行い、今年初の有意義ある講座を終了した

白水校敷地

内郷町では十三日午前九時から役場会議室に経済委員会を開き、懸案中の綴小校、白水分校の敷地請負いに関する問題並びに予算百万円の貸余開く工事の請負について協議し、近く入札の運びとなつた

サンマ業大會 解禁日に開し協議会

サンマ漁業解禁日をめぐつて例年北海道と関東地方との漁業者は紛争を起しているが、今年はこれらのゴタくを未然に防止するため来る廿日平市公会堂に関東北サンマ業者が参集して解禁日を漁期前に協定を結び、内地と北海道の輸送問題及び出漁などに関する具体的な打合せを行うことになつた

工場長ら盗む 植田の精麦会社

植田地区署では、十一日植田町字竹原、磐城精麦有限会社工場長渡辺行雄(三〇)同機械工富岡三男(三五)同機械工鈴木四郎(三七)同工員島幸一(三〇)江名町、大平正明(二八)植田町居住田人村農協職員安孫子精吉(四三)の六名を窃盗容疑で逮捕渡辺、富岡の両名を十二日身柄送検した

同人らは、昨年八月廿日頃から十二月末日までに廿八回に亘つて会社工場現場(社長押田憲一氏)から内麦三十俵、九麦その他八万一千八百五十円相当を窃取して田人村農協職員緑川春松外近所の人達に一俵二千五百円前後で売り卸し遊興費にあてていたもの

列車内でスラる

赤井村西小川農小川豊治(七七)さんは九日午后四時十六分ころ、磐越線平―小川郷間で現金三千四百円入り財布をスラれた

酒を飲んだ挙句大トラとなり上衣もカバンも何処に置き忘れ、漸く帰宅した

―◇―

トタンに女房がつのを出し「あなたまあ」というわけで首をしめられ、申訳なさに「実は辻強盗に襲われた」とウソを云つてしまつた

―◇―

さあ大変と女房は直ちにこれを市署へ届出たので、調べて見たらウソと判り、亭主益々恐妻病になつたという、ある役所のトラ吏員の話

本社主催 平・中村間驛傳競走

必勝を期する ＝各監督の抱負＝【4】

浜通り平、中村間の各町村を結ぶ一〇六キロの駅伝競走は、あと二日の十五日に迫つた、参加各チームは最後の練習も終つて、晴れの大会を待つのみとなつた、戦を前にして各チームの監督からその秘策を聞いて見る

常磐習技所 円谷監督

各チームの本年の家力をつかむことが出来ないので、勝負については言明する事は出来ないが、記録からいけば去年の習技所チームの出したタイムは遠い昔の事であり今度は六時間二十分を割れそうな感じがする、何故ならば、の粒が揃つて練習も相当量積み、十五才から十八才までのハリ切り盛りのみなので、特別の事故でも起らない限り、上位入賞は確信している

好間チーム 大河原茂彌氏

今年はチームをがらりと変更して見た、若いものでないと熱もないので、若いものを中心として編成した、空気がピッタリするのがよく練習もしているので、昨年の不成績をとりもどすだろうと確信している、ストその他で練習も出来ず、参加法定も遅すぎた嫌いあるが、若さで必勝を期している

常磐炭鉱 西田武夫氏談

今年は新記録を出すべく努力している、工藤と小形が出場しないだろうと噂されているが、小形を補欠として置いた、練習にも参加しているが、足をきつても前回の記録を出している選手もあり、小形も是非参加したいというので、足の調子がよければ小形はトップを走るようになろう、工藤は完全に絶好のコンディションにあり高橋、御代、大場、馬場ともにハリ切つているので、昨年の記録をどの程度縮めるかにのみ、われらは自信がある

呉羽化学 谷沢清氏談

新人三名を入れてチームの強化を断行した、七区の難関には園部君を置いた、前回ラストを走つて第二位を占め、その後順調な力走を続けている石井、その他の新人は何れも学生時代のスプリンターであり、今年は常磐を目標として練習し、打倒常磐の必勝に燃えている

高校の予想 磐女高崎氏談

いろく各方面の情報を聞いて見るとやはり磐高が強い、磐高、平工、相農の三チームの争いではないかと思う、平工は大野校長自ら陣頭指揮で、中村から平まで選手の激励に乗出すという熱の入れ方である

相農は一番練習を積んでいるというので、注目されているが、磐高は昨年以上の好記録を作つて優勝することに間違えはないというのが一般の予想通りで、これが的中するのではあるまいかと思う

≡祝≡ 第二回平・中村驛傳競走 1月15日

平市役所
平市議會
石城地方町村会
常磐炭礦株式会社
内郷町役場
常磐交通自動車KK
古河炭礦好間鉱業所
日本水素工業株式會社(小名浜)
呉羽化学工業KK
錦工場
東部産業KK
平商工会議所
平市金融団
平デパート会
磐城土建KK
堀江工業株式会社
KK ㊀ 平魚市場
諸橋合名会社
関内正一
高木松吉
木村守江
蓮沼竜輔
馬目武之助
阿部政右エ門
強口唯七
鈴木寅次郎
鈴木正男
山崎与三郎
塩谷茂雄
永野孝夫
井坂久吉
後藤全久
矢吹大一郎
斎藤正雄
田村運動具店
常磐ヤンマー製作所
株式会社寿百貨店
東平物産株式会社
大塚運動具店
ヤマカ運動具店
竹林病院
坂本産業株式会社
大黒屋
いづみや
鶴屋
魁文堂
ウロコヨ
平料芸組合
平飲食店組合
丸ほん
三井百貨店
丸一材木店
マルトモ書店
平市遊戯場組合
関内薬局

主催 双葉地区陸上協会
相双地区高校体育連盟
後援 相双スポーツ連盟
双葉町村長会
双葉建設KK 佐々木智 電話一〇五番
浪江教育委員 材木店 佐藤匡 電話七三番
浪江体協会長 大一屋 中央劇場 電話一番
薬局店 鈴木文雄 電話一一番
鉄工場 今野忠三
百足屋旅館 電話一四番
浪江消防団長 牛來義網 電話三〇番
浪高校長 尾崎信興
双高校長 高橋猛
西病院長 西貞八 (二〇七番)
浪江町長 愛沢寧
新聞販売 鈴木宏
県会議員 山田光政
公民館長 天野楯夫
体協会長 石田忠治
消防団長 永井幹一
吉岡商店
小池時計店
渡辺新聞店
富岡町長 早川竣通
地方事務所長 北島雄太郎
教育出張所長 涌井清明
町村会長 太田耕治

代議士 高木松吉
県会議員 松本光信
町長 鯨岡亀蔵
消防団長 木村総平
医師 額賀誠
若松屋旅館
町長 新妻久五郎
公民館長 豊田要三
相馬地方町村会
相馬サイクル協会
相馬中村製材協組
中村旅館組合
中村商工会議所
中村商栄会
中村公民館
新地公民館
大野公民館
山上公民館
駒ケ峰公民館
八幡公民館
日立木公民館
飯豊公民館
磯部公民館
福田公民館
代議士 鈴木直人
駅長 楼井文治
医院 渡辺章
中村町役場 町長 三田四郎 助役 本田富助 収入役 天野征清 議長 馬場重斎
原ノ町役場 町長 渡辺敏 助役 玉川長エ門 収入役 佐藤清
相馬地方事務所 所長 井沢保 次長 早川理久